

授業と評価の年間計画

教 科	理数	科 目	理数生物	
履修条件 対象生徒	選択 理数科 3年			
学習目標	生物や生命現象についての観察・実験などを行い、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身に付ける。また、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する態度と的確に表現する力を高める。			
学習方法	<p>【授業】 教科書に従って授業を進め、基本的な概念や問題解決能力を養う。生徒同士の学び合い・教え合いの機会を重視する。内容については、教科書にないものも補助教材を使って学習する。実験は『生物実験ノート』を利用して行い、探究心を高め、科学的に考察する力を身に付ける。</p> <p>【家庭】 教科書で予習をし、疑問を持って授業に臨むようにする。授業後は、補助教材も用いながら、その日のうちに復習をして疑問点を解決しておく。</p> <p>【補習・その他】 定期考査毎に、問題集用ノートを提出する。成績不振者については個別に補習を行う。</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1)中間考査まで ア 遺伝子と染色体 イ 生殖と発生 (2)期末考査まで ア 動物の反応と行動 イ 植物の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝子と染色体の関係を理解する。 ・ 動物の生殖・発生のしくみを理解する。 ・ 動物の受容器、効果器、神経系の構造やはたらきを学び、動物が引き起こす行動の原理を理解する。 ・ 植物の生殖・発生のしくみを理解する。 		
	2 2学期 (1)中間考査まで ア 植物の環境応答 イ 生物群集と生態系 ウ 生命の起源と進化 (2)期末考査まで ア 生物の系統 イ 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植物の刺激に対する反応とそのしくみを理解する。 ・ 生態系の構造や特徴を学び、生物と環境との関わり合いを理解する。 ・ 生物の進化について、生命の起源や変遷、進化の証拠・生物の変異体から進化のしくみをひも解く。 ・ 生物の系統関係、生物の分類法について理解する。 ・ 総合演習 		
	3 3学期 (1) 学年末まで ア 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合演習 		
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題・提出物・小テストなどを総合的に判断して評価する。			
そ の 他	実験においては、主体的・積極的に取り組み、観察力や論理的思考力、器具の操作に関するスキル等を高める。			